

勝木勇人議員のヤジに対し、猛省と公の場での謝罪を求める決議

札幌市議会第1回定例会の最終日3月29日、本会議場において「立憲主義と民主主義を尊重し、安全保障関連法を廃止することを求める意見書」への賛成討論に立った小形香織議員に対し、勝木勇人議員が、「精神鑑定を受けた方がいいんじゃないのか」というヤジを飛ばした。

これは、個人の人格への攻撃にとどまらず、精神障がい者への差別と偏見を助長する暴言であり、市民及び国民をも冒瀆する許しがたいものである。

また、市民の負託を受けた議員としてあるまじき発言であるとともに、市議会会議規則99条に照らし、議会の品位と良識を著しく汚すものであることから、本市議会として到底看過できるものではない。

報道を見た市民からは、「ひどすぎる発言だ」「議員としての資質が問われている」「市民をも愚弄するヤジだ」など怒りの声が多数寄せられ、議員個人や議会内にとどまらず、広く市民にかかわる重大問題に発展している。

よって、本市議会は、市民への説明責任を果たすことと信頼回復を図る目的で、勝木勇人議員に対し、本市議会の品位を汚したヤジを猛省するとともに、記者会見など、公の場での謝罪を求めるものである。

以上につき決議する。

平成28年（2016年）4月5日

札幌市議会

（提出者）民主市民連合、日本共産党及び改革所属議員全員並びに
市民ネットワーク北海道石川佐和子議員及び維新の党中山真一議員